

A－不安障害：不安感が中核症状である心理障害のこと

No.	上位分類 疾患名	下位分類－1 疾患名	下位分類－2 疾患名	主な症状
1	<p align="center"><b>パニック障害</b></p> <p>パニック発作を主症状とする心理障害。 自分の「内側」からやって来る恐怖によって発作が引き起こされる。</p>			<p>・突発的なパニック発作</p> <p>&lt;症状&gt; 動機・発汗・窒息感・めまい・不安感・死への恐怖感等</p>
2	<p align="center"><b>全般性不安障害 (GAD)</b></p> <p>いつも得体の知れない不安につきまとわれている心理障害のこと。</p>			<p>・過剰な不安と心配</p> <p>&lt;症状&gt; 落ち着きのなさ・緊張感・疲れやすさ・過敏性・睡眠障害等</p>
3	<p align="center"><b>恐怖症性不安障害</b></p> <p>通常は恐れる必要のない対象物への尋常でない恐怖感を抱き、それを回避しようとする心理障害のこと。</p>	①特定の対象物への恐怖症	①動物型 ②自然環境型 ③血液・注射・外傷型 ④状況型 ⑤その他(先端恐怖等)	<p>・特定な対象に対する過剰で持続的な恐怖感</p> <p>&lt;症状&gt; 不安反応、パニック発作等</p>
		②広場恐怖(外出恐怖)		
		③社交不安障害(SAD) (社会恐怖・対人恐怖)	①視線恐怖 ②赤面恐怖 ③表情恐怖・笑顔恐怖 ④スピーチ恐怖 ⑤自己臭恐怖	
4	<p align="center"><b>強迫性不安障害</b></p> <p>強迫観念と強迫行為の2つの主症状から形成される心理障害のこと。</p>			<p>・強迫観念</p> <p>&lt;症状&gt; 不安感、不安を誘引する反復的、持続的観念等</p> <p>・強迫行為</p> <p>&lt;症状&gt; 不潔恐怖、加害恐怖、確認行為、保存強迫、数唱強迫等</p>
5	<p align="center"><b>外傷後ストレス障害 (PTSD)</b></p> <p>存在が危険に晒されるような強烈なストレスを受けた後に生じる心理障害のこと。</p>			<p>・1ヶ月以上継続する過覚醒</p> <p>&lt;症状&gt; 回避行動、フラッシュバック、不安、不眠、記憶想起の回避、感情鈍磨等</p>
6	<p align="center"><b>急性ストレス障害 (ASD)</b></p> <p>強烈な外傷的出来事に出合った直後に生じる心理障害のこと。</p>			<p>・1ヶ月以内に消失する過覚醒</p> <p>&lt;症状&gt; 回避行動、フラッシュバック、不安、不眠、記憶想起の回避、感情鈍磨等</p>

B—身体表現性障害：身体的苦痛を訴えるが、生物学的器質的原因がない病体の総称のこと

No.	疾患名	主な症状
1	身体化障害	種々の身体的症状が数年間に渡り反復維持される障害のこと。社会生活、職業生活に支障をきたし、医療援助を求め続ける。症状は主に頭痛、腰痛、腹痛、発汗、疲労感、アレルギー等で、疼痛症状、胃腸症状、偽神経学的症状等に分類される。発症率は、女性が男性の20倍。
2	転換性障害	生理学的原因が見られず、感覚性症状、運動性症状を訴える障害のこと。症状は視力の喪失、失声、感覚麻痺、皮膚の疼き(ちくちく、ひりひり)、立位や歩行が困難になる等。心理的葛藤や欲求に関連して生じると言われている。発症率は、女性が男性の2倍。
3	疼痛性障害	痛みの強さを説明する医学的原因が存在しないにも関わらず、痛みを訴え続ける障害のこと。痛みの発症や軽重、持続は心理的要因に起因すると推測されている。痛みの訴えにより、利益(疾病利得)、つまり周囲から親切にしてもらえ、困難を回避できる等の利益を得る場合が多いと考えられている。発症率に男女差は見られない。
4	心気症	重大な疾患への恐怖や不安感に囚われ、微細な身体的な違和感にも固執してしまうことが、少なくとも6ヶ月以上継続する障害のこと。診察や検査で異常所見がなくても、苦訴は繰り返され、満足する診断や援助が得られるまで治療機関を何度も訪れる。発症率に男女差は見られない。
5	身体醜形(醜貌)障害	自分の容貌に欠陥があると過剰に思い込んでしまう障害のこと。顔のしわ、毛深さ、眉毛の形、低身長等に異常があると訴える。そのことに囚われて抑うつ的になったり、対人接触を回避したりするようになることもある。繰り返し整形手術を受けても、施術により悩みが解消されることはほとんどない。青年期から成人期初期の発症が多く、男女差は見られない。

C—解離性障害：解離を基礎とした病態の総称のこと

No.	疾患名	主な症状
1	解離性健忘	精神的ショック体験により記憶を喪失してしまう障害のこと。ある一定期間の記憶のみを忘れてしまう場合と、全生活史を忘れてしまう場合とがある。但し、生活史と関連しない記憶や新たな情報を取り入れる能力は保持されており、相応の社会生活を送ることはできる。大半はやがては記憶が回復する。解離性障害の中で最も頻繁に見られる障害である。
2	解離性遁走	遁走とは「逃げる」ことを意味する。仕事や家庭から突然逃げ出して放浪し、自分の過去や記憶を喪失してしまう障害のこと。
3	解離性同一性障害	多重人格障害とも言われる障害である。一人の人間の中に少なくとも2つか、それ以上の分離した人格が存在する状態のこと。複数の人格は異なる個性、感情、行動を有する。一般に人格どうしが交流することはなく、人格間の記憶は断絶している。全く正反対の人格を呈したり、別々の人格間で利き腕や声などの具体的な特徴が異なったりする場合もある。女性に多く、青年期早期の発症が大半である。症状は、加齢に伴い消失することが多い。
4	離人症性障害	自分の身体から自分が遊離して、離れた所からまるで傍観者のように自分を眺めているような感覚を持つ障害のこと。このような体験は、ストレスに誘引されることが多く、自分が自分であるという感覚を突発的に喪失する。自分の声が奇妙に聞こえたり、身体のサイズに違和感を持ったりもする。記憶の障害は見られない。通常青年期に多く発症する。

\*\* パーソナリティ（人格）障害のまとめ \*\*

A 群パーソナリティ障害：奇妙な／普通でない行動を示すパーソナリティ障害のグループ  
統合失調症に近い症状を示す。

No.	疾患名	説明
1	妄想性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危害を加えられ、騙され、利用されているという疑惑が広汎に体験されている。</li> <li>・友人や仲間の忠誠に信頼性について根拠なく疑い、他者を信頼しようとしな</li> <li>・他者の害のない行動から隠されたメッセージを読み取る。</li> <li>・不正を感じて、それを恨みに思う。</li> <li>・性格などを攻撃されたと感じて怒りの反応を示しやすい。</li> <li>・配偶者や性的パートナーの信頼性について根拠なく疑う。</li> </ul>
2	統合失調質パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親密な関係への願望や楽しみが欠如している。</li> <li>・孤独を何よりも優先する。</li> <li>・セックスにほとんど関心がないし、あったとしても快楽がほとんどない。</li> <li>・友達がいない。・他者からの賞賛や批判に無関心である。</li> <li>・感情が平板で、情緒的に孤立している。</li> </ul>
3	統合失調型パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係念慮がある。</li> <li>・独特の信念あるいは魔術的思考がある。</li> <li>・普通でない感覚を体験している。</li> <li>・独特な言語パターンが見られる。</li> <li>・極端な疑い深さや妄想がある。</li> <li>・情動が不適切である。</li> <li>・行動もしくは外見が奇異である。・親密な友人がいない。</li> <li>・周囲の他者に対し、極端な不快感や不安を示す。</li> </ul>

B群パーソナリティ障害：派手な／突飛な行動を示すパーソナリティ障害のグループ

No.	疾患名	説明
1	境界性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実または想像の中で見捨てられることを避けようとしてなりふりかまわぬ努力をする。</li> <li>・理想化とこきおろしとの両極端を揺れ動く不安定で激しい対人関係様式を示す。(スプリッピング)</li> <li>・自己感が不安定である。</li> <li>・浪費や性行為を含む衝動的な行動を示す。</li> <li>・自殺の行動、そぶり、自傷行為を繰り返す。</li> <li>・感情が不安定である。</li> <li>・慢性的な空虚感がある。</li> <li>・怒りの制御に関して顕著な問題がある。</li> <li>・ストレス関連性の妄想様観念または解離性症状を示す。</li> </ul>
2	演技性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が注目の的になることを強く望む。</li> <li>・不適切なほど性的に誘惑的な行動を示す。</li> <li>・感情表出がすばやく変化する。</li> <li>・自分への関心を引くために絶えず身体的外見を利用する。</li> <li>・過度に印象的だが、細部においては内容のない話をする。</li> <li>・大げさで芝居かかった感情表現をする。</li> <li>・過度に影響を受けやすい。</li> <li>・対人関係を実際以上に親密なものとする。</li> </ul>
3	自己愛性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の重要性に関する誇大な感覚がある。</li> <li>・成功、才気、美しさにとらわれている。</li> <li>・過剰な賞賛を求める。</li> <li>・特権意識を持つ。</li> <li>・他者を不当に利用する。</li> <li>・嫉妬深い。</li> </ul>
4	反社会性パーソナリティ障害 (現在のところ有効な治療法がない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違法行為を反復する。</li> <li>・人を騙す、うそをつく。</li> <li>・衝動的である。</li> <li>・苛立ちや攻撃性がある。</li> <li>・自分または他人の安全を考えずに向こう見ずである。</li> <li>・仕事が続けられない、経済的義務を果たさないなど無責任である。</li> <li>・良心が欠如している。</li> </ul> <p>※15歳以前に行為障害があり、18歳に達していることが条件</p>

C群パーソナリティ障害：不安／恐怖に関連する行動を示すパーソナリティ障害のグループ  
 神経症に近い症状を示す。

No.	疾患名	説明
1	回避性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・批判や拒絶を恐れるため、対人関係を回避する。</li> <li>・好かれていると確信できなければ、人と関係を持ちたいと思わない。</li> <li>・恥をかかされたり、馬鹿にされたりすることを恐れるため、親密な関係の中でも遠慮を示す。</li> <li>・批判されること、または拒絶されることにとらわれがちである。</li> <li>・自分について不適切であるという感覚がある。</li> <li>・劣等感がある。</li> <li>・恥ずかしいことになるかもしれないという理由で、何か新しい活動に取り掛かることに異常なほど引っ込み思案である。</li> </ul>
2	依存性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者からの有り余るほどの助言と保証がなければ、物事を決定できない。</li> <li>・自分の生活のほとんどの領域で、他人に責任をとってもらうことを必要とする。</li> <li>・支持を失うことを恐れるために、他人の意見に反対を表明することが困難である。</li> <li>・自信がないため、自分で物事を行うことが困難である。</li> <li>・他者からの是認や支持を得るために、不快なことまで自ら進んでやるほどである。</li> <li>・他者の助けなしには物事にうまく対処できるという自信がないため、一人になると無力感を抱く。</li> <li>・親密な関係が終わってしまうと、新しい関係を必死で求める。</li> <li>・自分が世話をされず放っておかれるという恐怖にとらわれている。</li> </ul>
3	強迫性パーソナリティ障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の主要点が見失われるまでに、規則や細目にとらわれる。</li> <li>・課題の達成を妨げるような完璧主義を示す。</li> <li>・娯楽や友人関係を犠牲にしてまで仕事に過剰にのめり込む。</li> <li>・道徳に関して融通がきかない。</li> <li>・価値のないものを捨てることができない。</li> <li>・他者が自分のやり方に従わない限り、仕事を任せることができない。</li> <li>・けちなお金の使い方を示す。</li> <li>・硬さと頑固さを示す。</li> </ul>
4	不定形型パーソナリティ障害	